

# 研究主題 「つなぐ つなげる つながりあう 生活科・総合的な学習の時間の創造」

【視点1】課題設定や単元構成の工夫(つなぐ)  
「つなぐ」…教師がファシリテーターとしての役割を果たす

【具体的な手立て】

①思いや願いを引き出す対象や事象との出合わせ方の工夫

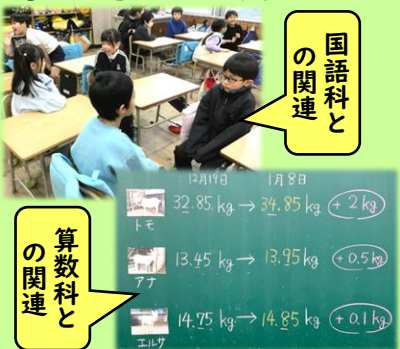


やぎと仲良くなり  
たい



触ってみたい  
な

②「活動」と「各教科等で身に付けた力」をつなぐ工夫



【○成果と△課題】

○対象や事象との出合いの場面の工夫により、子どもの思いや願いを引き出し、課題設定や次の活動に生かすことができた。また、教師の意図的な学習活動の設定や工夫が本質的な学びに向かうために重要であることが見えてきた。

△「活動」と「各教科等で身に付けた力」をつなぐ工夫については、カリキュラム・マネジメントの視点から、内容でつなぐだけでなく、育成を目指す資質・能力との関連を図り、合科的・関連的な学習を充実させる必要がある。

【視点2】振り返り(リフレクション)の工夫(つなげる)  
「つなげる」…活動を振り返り(リフレクション)でつないでいく

【具体的な手立て】

①振り返りを書く際の視点の工夫

- ①やったこと・見たこと・聞いたこと
- ②考えたこと・思ったこと
- ③新しいはてな?や次にしたいこと

3つの視点

ぼくはナカミフラッシングが  
おもしろい。フラッシング  
をしたら、いかに、いかに  
エサをあげて、なかなかりたい  
です。

- ・分かった!できた! → 桃色
- ・もっと~したい → 緑色
- ・どうして?なぜ? → 黄色
- ・なるほど!すごい! → 水色
- ・わからない。困った → 白色

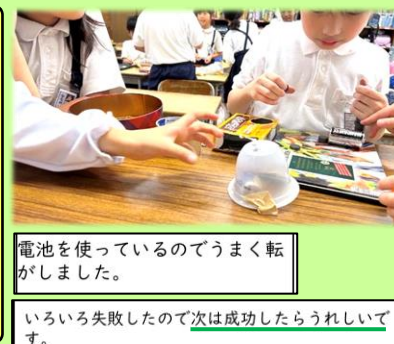
5つの視点

よしよしでゴムを  
とって、おもしろい。ゴム  
を、おもしろい。ゴムを、  
おもしろい。ゴムを、おもしろい。  
ゴムを、おもしろい。ゴムを、  
おもしろい。ゴムを、おもしろい。

②「振り返り」を生かし、次の探究活動へつなげる工夫



わたしはやぎとおご  
んぼしたよ。やぎがた  
のしそうでした。やぎこ  
づくりしてみたいです。



電池を使っているの  
でうまく回が  
しました。  
いろいろ失敗した  
ので次は成功した  
らうれい  
です。

【○成果と△課題】

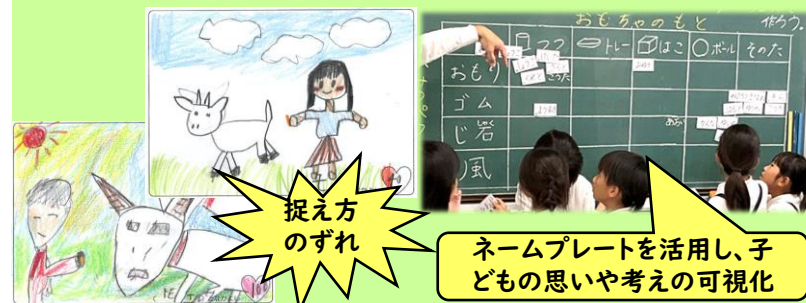
○活動を振り返る際の視点を明確にすることで、一人一人が自分の気づきや考えを自覚し、言葉などで表現することができるようになってきた。また、教師による価値付けにより、子ども自身のメタ認知力を育むことにつながった。

△振り返りにおいて、次の活動を質的に高めていくために、教師が意図的に立ち止まって全体で共有する場面を作るところに課題が見られた。今後、子どもの学びを深め、広げるための「教師の出方」についても探っていく必要がある。

【視点3】子ども同士のかかわり合いを生み出す工夫(つながりあう)  
「つながりあう」…一人一人が自分の考えを持ち、課題解決に向けて仲間と協働する

【具体的な手立て】

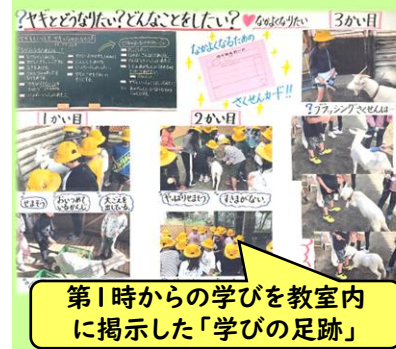
①子どもの思いや考えを整理する手立ての工夫



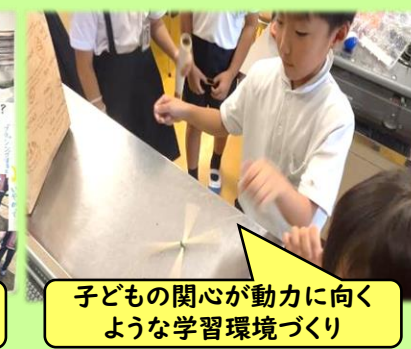
捉え方  
のずれ

ネームプレート  
を活用し、子  
どもの思いや  
考えの可視化

②思いや考えを共有する学習環境づくりの工夫



第1時からの学びを  
教室内に  
掲示した「  
学びの足跡」



子どもの関心  
が動力に向  
くような学  
習環境づくり

【○成果と△課題】

○思いや考えを整理する手立ての工夫については、ネームプレートや表現活動における成果物などを活用し、一人一人の考えを可視化することで、子ども同士のかかわり合いを生み出すことにつながった。

△思いや考えを共有する学習環境づくりの工夫については、学びの足跡などの掲示物は、学習を振り返る際には効果的だったが、子ども同士のかかわり合いを生み出すことには課題が見られた。掲示物などの活用方法を探る必要がある。